

公契約条例について

問 市は今後、公契約をどう考えていくのか。

答 今年度中に公契約に対する指針をまとめる。条例制定は県や他市の運用状況や課題等を研究するとともに、コロナ禍による国の労働政策の動向にも注視しながら検討していきたい。



大須賀林 (自民党市議員)

狭隘道路の解消について

問 6月1日より施行された「市狭あい道路に係る後退用地等の確保と整備に関する要綱」で後退用地寄附の補助対象が市街化区域に限定される理由は。

答 狭隘道路の7割が市街化区域に存在し、市街化区域は住宅密度と生活道路利用率が高いため、支援優先度が高いと考えていること。都市計画の観点から立地適正化計画でも、居住誘導区域を市街化区域内に設定、居住場所を集約し効率的な都市経営を目指しているため、考え方は合致していること。加えて、効率的整備のため、優先実施範囲を絞る必要があるといった様々な要素を勘案し総合的に検討して決定した。

問 解消に向けた市長の決意を伺う。

答 狭隘道路の問題解決は、市民の安全で良好な居住環境の向上につながる重要な施策と考えている。時間がかかるかもしれないが、事業を継続して進めていくことにより、市民の協力を得ながら、少しでも解消できるよう取り組んでいきたい。

い。

竹内滋泰 (自民党市議員)

組織・機構改革を踏まえた今後の市政運営について

問 4月に行った大規模な組織及び機構改革を踏まえ、今後の市政運営について市長の考えを伺う。

答 一人一人が希望と幸せを実感できるまちづくりを目指し、チーム蒲郡で市政運営に臨んでおり、より着実に推進するため機構改革を行った。今後は市民



市政に取り組む鈴木寿明市長

の命と暮らしを守る体制を整え、市民の声をしっかりと聞き、ニーズを捉えて第五次総合計画の実施に向け、市民一体となったワンチームで市政運営を行っていく。

市民病院新棟建設に向けて

問 新棟建設への調査の取組状況を伺う。

答 地域への最適な医療提供、住民の安全・安心に寄与する考えの下、災害、感染症対策や高度・先進医療推進等を目標に在り方を協議し、救急医療・健診センターの充実、内視鏡センター1拡充、医局や研修医室確保、再生医療推進等は、おおむね決定している。今後は新棟建設の場合の場所と規模の考えをまとめたい。

新実祥悟 (市政クラブ)

子どもを産み育てる環境について

問 公共施設の妊婦優先駐車場の足りない印象だが、今後の設置の見通しは。



妊婦のマークのある駐車場

答 妊婦のマークのある駐車場14台分とスペースを広くとった駐車場が116か所あるため、看板設置等適切に整備していきたい。

問 地区が管理する公園等のトイレを業者に委託することの可否と、老朽化したトイレの今後の考えは。

答 都市公園では、地区の負担が過度な場合に業者へ清掃委託している。児童遊園地等では地区に管理をお願いしているが、業者委託も含め今後検討したい。老朽化したトイレは、個別施設計画に基づき補修・建て替えを考えていく。